

# 大津市立皇子が丘保育園

日時：2013年11月21日（木）13:30-17:00

2013年11月29日（金）9:00-16:00

場所：大津市皇子が丘 1-20-20

近江神宮や皇子山公園に近い皇子が丘保育園。秋の実り祭りでは、親子での秋の自然体験を実施されたりしています。今回は、皇子山公園で、秋の自然を活かしたプログラムを作成しました。

（対象：4歳児、5歳児 計30名）

1日目は講座、下見とプログラムづくり、2日目は作成したプログラムの実践とふりかえりです。講座の一部を紹介します。 講師 島川武治（しまっち）さん

## スウェーデンの保育園の様子は・・・

・日本の一般的な園舎では、壁面に季節や行事に合わせた装飾や、子どもたちの作品などが美しく飾られていることが多いですが、スウェーデンではほとんど壁面装飾はなく、各クラスに1枚の大きな絵が飾ってあるだけです。そこには、大木とその地面の下の様子が描かれ、ミミズなど土壌生物、樹木、葉っぱ、落ち葉へと栄養が循環していく様子が理解できるようになっています。子どもたちは、自然の循環を見て、日々育っていきます。



研修では、新うおーたんの自然体験プログラムも使用して、参考にしています。



ハクモクレンの冬芽をルーペで観察。毛がたくさん生えています。



落ち葉で、動物づくり。キリンに見えるかな？

## むしさん むしさん でておいで！ ～くすくすくす みなむっし～

くすの木の葉っぱの魔法で、虫になった子どもたち。虫になって葉っぱのにおいをかいだり、虫になって歩いたり、虫の仲間を探したり。冬の間に見つけることが少ない虫になって、冬は虫がどうしているのかな？と疑問を持ち、虫探しを始めました。すると、木の隙間や石の下から虫たちが見つかりました。冬越しをしている虫たちに気づいた子どもたちでした。



くすの木の葉っぱのにおいをかぐと、みんな魔法にかかってしまいました。

毛虫が見つかった！冬なのに、寒くないのかな？どうしているのかな？



虫さんになって、歩いてみよう！ぴよこぴよこ、ぺたぺた、もそもそ、とことこ。



石の下には何かいるかな？「めくってみよう！」ダンゴムシやヤスデがいたぞ～



## 「はっぱっぱー」をたすけよう

真っ白な体でやってきた「はっぱっぱー」落ち葉がなくて、悲しくて泣いている。みんなではっぱっぱーの服を着せてあげよう！赤や黄、茶、いろんな葉っぱを集めて、帽子に、服に、マントを着せてあげたら、はっぱっぱーはとっても元気に。最後にみんなで「手のひらを太陽にを歌ったよ」



みんなで葉っぱを集めて、ペタペタペタ、はっぱっぱーに着せてあげたよ。



かわいそうなのはっぱっぱー。どうしたの？  
「葉っぱがなくなって、寒くて寒くて、悲しいよ〜」



元気になったはっぱっぱー  
みんなと友だちになって、本当にうれしそうだよ。

## 風ビュービューとなかよくなろう

はっぱっぱーと仲良くなれたと思ったら、突然、風ビュービューという奴が現れた！風を吹かせて、はっぱっぱーをイジメていた奴だ。みんなで風ビュービューをやっつけよう！普段は気付かない風だけど、寒い時も暑い時にも必要な大事なものだったんだ。



風ビュービューが苦手なおいのする葉っぱやくすぐる枝、大きな葉っぱを集めて、攻撃だ！



風ビュービューが現れた！  
はっぱっぱーをイジメたぞ！



風ビュービューは本当はいい奴だったんだ。最後はみんなと仲直り

## プログラムを終えてのふりかえりから

- ものづくりとなると、室内でというイメージがあったが、現地で作る達成感があった。
- 目に見えない風をいかに感じるかがポイント。目を閉じて風の向きを知るなどの活動を入れると良い。
- 流れが良かった。子どもの心が満足していく静の充実から、揺さぶられていくという流れであった。